



○営業時間の変更について

令和6年2月29日(木)	15時まで営業
「梅の宴」開催期間中の土曜日(2/3・2/10・2/17・2/24・3/2・3/9)	
	16時まで営業
令和6年3月29日(金)	13時まで営業(決算棚卸のため)
令和6年3月30日(土)	臨時休業(決算棚卸のため)
令和6年4月1日(月)	12時より営業(決算棚卸のため)

【温州みかん】

施肥 3月中下旬

- 特選みかん配合 655 160kg/10a 施肥後、軽く中耕を行いましょう。
- ※特選みかん配合 655 には 微量元素 が含まれています。
- 数年に一度は微量元素欠乏対策の為、特選みかん配合 655 を使用しましょう。

石灰資材の施用

- 顆粒タイニー 又は 苦土タンカル 200kg/10a
- 石灰資材をここ数年施肥していない園(又は、1~2月に石灰資材を施用していない園)では、根の活動が低下し、養分の欠乏をひきおこす可能性があるため必ず施用し中耕しましょう。
- 尚、春肥とは最低でも2週間以上あけてください。

病虫害防除 3月中下旬

- かいよう病・そうか病対策
- 病斑のある枝葉は、新葉が出てくるときに感染源となるので、剪定時に取り除いて園内から持ち出し病原菌の密度を低くしましょう。
- かいよう病
- コサイド 3000 1,000倍 100g/100㍓ (クレフノン 200倍 500g/水 100㍓加用)
- ※マシン油乳剤と混用散布は避け、近接散布は最低2週間以上あけましょう。
- ※温州みかん園に中晩柑類(ネーブル・レモン等)が混植されている場合には防除を必ず行いましょう。
- ※この時期に散布できなかった園は4月上中旬にコサイド 3000 2000倍 50g/水 100㍓ (クレフノン 200倍 500g/水 100㍓加用) 又はイデクリーン水和剤 500倍 200g/水㍓ (クレフノン 200倍 500g/水 100㍓加用) を散布しましょう。

【湘南ゴールド】

選果

湘南ゴールド 階級	2S	S	M	L	2L
横径 (mm)	40~45	46~50	51~55	56~61	62~67
温州みかん 規格	4S	3S	2S	S	M

*規格板は営農経済センターで取り扱い中です

剪 定

温州みかんと同じ開心自然型とします。しかし、温州みかん同様の剪定では強すぎるため、主枝や垂主枝を竹などで開張し、逆行枝、側枝の重なり枝の間引き剪定と下垂枝の切り返し程度に控え、樹冠内部に光が入る様にしましょう。

結実し始めた樹は弱剪定で樹形が乱れているので、剪定量を増やし樹形を徐々に改善しましょう。

施 肥 3月中下旬

特選みかん配合 655 140 kg/10a 施肥後に軽い中耕を行う。

収穫後

〇かいよう病

ICボルドー66D 100倍 1,000ml/100畝 (アピオンE 1,000倍 100ml/100畝加用)

又はムッシュボルドーDF 1,000倍 100g/100畝 (クレフノン 200倍 500g/100畝加用)

発芽前であればアピオンE、クレフノンの加用はない。

※病斑のついた枝は剪定時に園外へ持ち出す。ICボルドー66Dはマシン油との散布間隔は14日以上開ける。

【中晩柑】

不知火・はるみの剪定

主枝先端を明確にして、直径1cmぐらいのところを切り返し、予備枝(坊主枝)を作り、新梢を発生させ樹勢の維持を行います。

翌年の結果母枝の確保のため、鉛筆位の太さの予備枝(坊主枝)を、垂主枝に対して1本設けましょう。はるみは主枝先端部の切り返しを強めに行い、不知火はやや強めの切り返しにとどめる。はるみ程強く切り返す必要はない。

施 肥 特選みかん配合 655 140 kg/10a 施肥後に軽い中耕を行う。

病害虫防除

はるみ・レモン・ネーブル等は、かいよう病に罹病しやすいので、湘南ゴールドの項を参照に防除して下さい。

『デコポン』の名称について

デコポンの名称は、熊本県果実連の登録商標です。「不知火」の果実は糖酸度に関係なく個人販売、JA直売所において『デコポン』の名称で販売できません。

【う め】

施 肥 3月中旬

〇梅配合 80kg/10a (樹勢を安定させ着果後の肥大促進を目的)

病害虫防除 3月上旬～3月下旬

〇かいよう病 コサイド3000 2,000倍 硬核期まで 50g/100畝
(クレフノン 200倍 500g/100畝加用)

※この時期のかいよう病防除は重要防除になります。必ず散布し、加工果実を減らしましょう。

3月中旬～下旬

○アブラムシ類 スミチオン乳剤 収穫14日前 2回 2,000倍 50ml/水100㍺ 又は
チェス顆粒水和剤 収穫21日前 2回 5,000倍 20g/水100㍺

○灰色かび病・黒星病 ポリベリン水和剤 収穫30日前 3回 1,000倍 100ml/100㍺

※灰色かび病の防除適期は落弁期（花びらの80%が散った時期）であるが品種によって開花時期が異なるので状態に合わせて防除する。

<黒星病の防除について>

黒星病の発生が非常に多くなっています！4月上旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！

4月上旬 ベルコート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100㍺

4月下旬 ストロビードライフフロアブル 収穫7日前 3回 3,000倍 33g/水100㍺

5月上旬 スコア顆粒水和剤 収穫前日 3回 3,000倍 33g/水100㍺

*2週間間隔で散布しましょう。

*前年の被害枝は切除しましょう。

【キウイフルーツ】

施肥 3月中旬

○キウイフルーツ配合654 100kg/10a（新梢の充実と初期肥大促進を目的）

病虫害防除 3月上旬（剪定後）

○カイガラムシ類 スプレーオイル 100倍 混用

アプロード水和剤 収穫前日 2回 1,000倍 100g/水100㍺

3月中旬（発芽前）

○キウイヒメヨコバイ アグロスリン乳剤（劇） 収穫7日前 3回 2,000倍 50ml/水100㍺

○かいよう病 ICボルドー66D 収穫後～発芽前 50倍 2㍺/水100㍺

※キウイヒメヨコバイの多発園ではこの時期防除することにより発生を減らすことができます。

【く り】

施肥 3月下旬～4月上旬 化成肥料14-14-14 60kg/10a(元肥)

【か き】

施肥 2月 柿配合100kg/10a

【お 茶】

施肥

2月下旬

○足柄茶配合033 3袋/10a

3月中旬

○足柄茶配合033 2袋/10a

病虫害防除 3月上～中旬

○カンザワハダニ バロックフロアブル 摘採14日前 1回 3,000倍(33ml/水100㍺)

又はダニゲッターフロアブル 摘採7日前 1回 2,000倍(50ml/水100㍺)

〇もち病 ドイツポルダーA 摘採 14 日前 500 倍(200g/水 100 ㍓)

4 月上中旬

〇ツマグロアオカスミカメ多発園

キラップフロアブル 摘採7日前 1 回 2,000 倍(50ml/水 100 ㍓)

【ジャガイモ】

芽かき 地上部に出た芽が 10 ㍓程度に伸びたら、太い茎を 2 本残し他の茎を根元から取る。(特に春作)

追肥・土寄せ 芽かき後、NK 化成 1kg/a を施し、株元に 5 ㍓程土寄せする。半月後にもう一度NK 化成 2kg/a と土寄せを行う。

※ジャガイモは種イモより上にできるので、イモに日光が当たり緑化しないようにしましょう。

※ただし、生育初期から多くの土を寄せると新しいもの生育が遅れる。

【ダイコン】

春まき 3 月中旬～4 月下旬

畑の準備

苦土タンカルを土になじむよう、播種の半月以上前に畑全体に施し、根が伸びやすいよう、深く耕します。(40 ㍓以上)

元肥は播種 1 週間前くらいに畑全体に施し、軽く土と混和する。

〇燐加安 MMB262 号 10kg/a

播種 点まき 畦間 60 ㍓・株間 25 ㍓ 3 粒

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

令和 5 年産湘南潮彩レモン 集荷状況

令和 6 年 1 月「湘南潮彩レモン」を約 5 トン集荷いたしました！！

湘南潮彩レモンは、当 JA オリジナルブランドとして名称ロゴマークを商標登録しており、業者や市場から多く要望されています。

「湘南潮彩レモン」は令和 6 年 5 月まで集荷しておりますのでレモンを栽培している方は是非 JA へのご出荷をご検討ください！！

お問い合わせはお近くの営農経済センターまでお問い合わせください。

ねっとショップのお知らせ

初夏みかん農薬の注文書が 2 月 25 日から 3 月 10 日までねっとショップに掲載されます。

<https://jac-toru.zennoh.or.jp/>

ねっとショップ会員登録画面へのアクセス方法



ねっとショップの登録は左記の URL または QR コードよりアクセスしてください。

ねっとショップの登録はセンター職員がお手伝いしますので、お気軽にお声掛けください。